

とちぎの財政

(平成29年度)



栃木県の財政状況
ってどうなの？

栃木県の予算って
どうなってるの？

VERY
GOOD
LOCAL
とちぎ



栃木県元気ニコニコ室長「とちまるくん」

元気発信“選ばれるとちぎ”づくり予算

I 平成29年度政策経営基本方針に基づく重点事項

- 地方創生の更なる深化
- 東京オリンピック・パラリンピック、国民体育大会・全国障害者スポーツ大会に向けた取組
- 災害に強いとちぎの実現

II 「とちぎ元気発信プラン」と「とちぎ創生^{いちご}15戦略」の着実な推進

- 次代を拓く人づくり戦略
- 強みを生かす成長戦略
- 暮らし安心健康戦略
- 快適実感安全戦略
- 誇れる地域づくり戦略

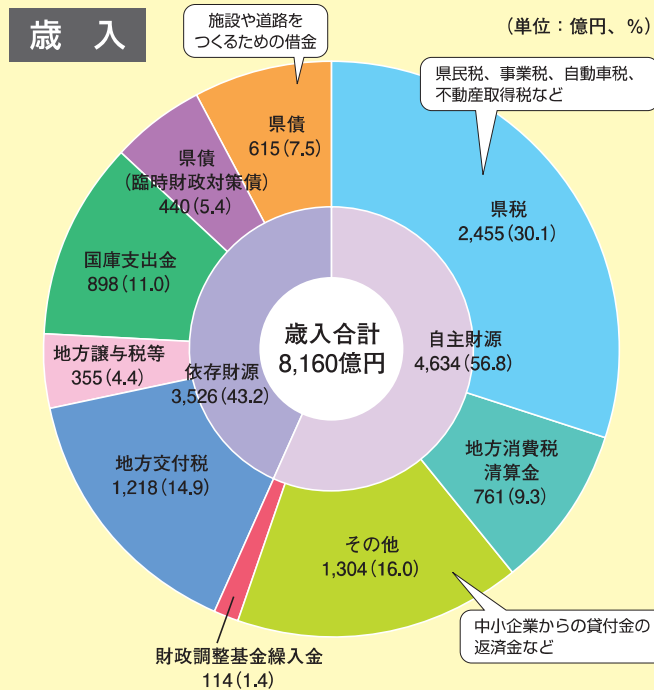
1 平成29年度当初予算の概要等

◎予算規模 8,159億8,000万円

【予算編成の基本的考え方】

- ・「政策経営基本方針」に基づく「地方創生の更なる深化」「東京オリンピック・パラリンピック、国民体育大会・全国障害者スポーツ大会に向けた取組」「災害に強いとちぎの実現」の積極的な推進
- ・「とちぎ元気発信プラン」と「とちぎ創生15戦略」の着実な推進

歳入



○歳入のうち、約30%が県税です。地方交付税、国庫支出金など国からくるものが約30%あります。

○全体の約13%を借金(県債)でまかなっているほか、足りない部分は貯金を取り崩しています。(財政調整基金繰入金)

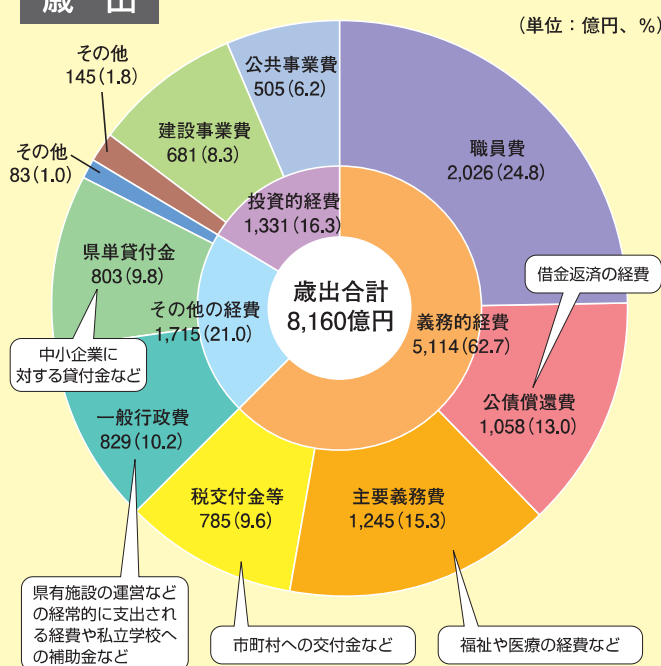
○借金(県債)については、国の地方財源不足対策による臨時財政対策債(臨財債)が約42%を占めています。

※臨時財政対策債(臨財債)とは

臨時財政対策債は、国から地方公共団体に配分する地方交付税が足りないため、その不足する金額の一部を、いったん地方公共団体に借り入れをしてまかなう県債のことです。

なお、返済する際の財源は、全額、地方交付税で補てんすることとされています。

歳出



○歳出のうち、約25%を職員費が占めています。このうち、公立小中高等学校の先生や警察官の給与などが約84%を占めています。

○職員費のほか、公債償還費や主要義務費など義務的経費が全体の約63%を占めています。



平成29年度予算の特徴

15戦略 →「とちぎ創生15戦略」関連事業であることを示しています。

I 平成29年度政策経営基本方針に基づく重点事項

地方創生の更なる深化

- ブランド力向上のための本県の魅力的なイメージを印象付けるPR動画等の作成 15戦略
- 県産農産物のブランド力強化に向けた各種調査やPR等の実施 15戦略
- 空き店舗を活用した創業への支援、経営革新計画承認企業等が行う新商品開発等への助成 15戦略
- 人材確保に向けた県内中小企業等の魅力発信力強化のためのセミナーの開催 15戦略
- 「とちぎUIJターン応援団（仮称）」の創設などUIJターンの促進 15戦略
- DESTINATIONキャンペーンの開催準備 15戦略 など

東京オリンピック・パラリンピック、国民体育大会・全国障害者スポーツ大会に向けた取組

- 東京オリンピック・パラリンピック関連テーマのシンポジウム等の開催
- 国立公園満喫プロジェクトモデル地域（日光国立公園）における県有施設のトイレ洋式化、歩道・園地等の整備 15戦略
- ユネスコ無形文化遺産登録に係る「祭り」をテーマとした記念事業の実施などによる「とちぎ版文化プログラム」の推進
- 総合スポーツゾーンの整備 ○国体競技会場の改修等を行う市町への助成等
- 国体及び全国障害者スポーツ大会に向けた選手の育成・強化 など

災害に強いとちぎの実現

- 洪水浸水想定区域図の見直し
- 災害の未然防止及び被害低減を図るための築堤・護岸、急傾斜地対策、堆積土除去
- 「栃木県公共施設等総合管理基本方針」等に基づく地方合同庁舎、県立学校の校舎等の改修、道路等のインフラ施設の修繕 など

II 「とちぎ元気発信プラン」と「とちぎ創生15戦略」の着実な推進

とちぎ元気発信プラン (平成28年2月策定)	とちぎの目指すべき将来像「人も地域も真に輝く 魅力あふれる元気な“とちぎ”」の実現に向け、今後5年間に県が行う仕事の進め方等を示す県政の基本方針
とちぎ創生15戦略 (平成27年10月策定)	人口減少問題を克服し、将来にわたる地域の活力を維持していくため策定された栃木県版「まち・ひと・しごと創生総合戦略」

次代を拓く人づくり戦略

- 小学校第3学年における35人以下学級の導入
- 学力向上専門員の派遣、学力向上推進リーダーの配置などによる児童生徒の学力向上の推進
- 「とちぎ結婚応援カード（仮称）」の発行 15戦略
- 子どもの居場所を運営する市町への助成
- 女性活躍の推進等に取り組む「男女生き生き企業」の認定・表彰 15戦略
- サイクルロードレース「ツール・ド・とちぎ」第2回大会への支援 15戦略 など

強みを生かす成長戦略

- 先端ものづくり産業（航空機・医療機器・次世代自動車）における研究開発等への助成 15戦略
- 内陸型国際物流拠点の整備への助成 15戦略
- 「とちぎ技能五輪・アビリンピック2017」の開催 ○新たな食肉センターの整備への支援
- ICTを活用したスカイバリーの食味向上技術の確立支援などによる「園芸大国とちぎ」の推進 15戦略
- 「おもてなし“いちご隊”（仮称）」の創設 15戦略
- 全県的な誘客効果が期待できるJR両毛線の新駅整備への助成 15戦略 など

暮らし安心健康戦略

- ICTの活用により県民の健康づくりを促進する効果的な方策の検討 15戦略
- 地域における小児在宅医療体制の構築に向けた研究会等の実施 15戦略
- 小・中学生や高校の進路担当教員を対象とする介護の職場見学等の実施 15戦略
- 准看護師資格の取得を目指す子育て中の者に対する修学資金の貸与
- 栃木県救命救急センターのICU機能拡充への助成
- 外見から分かりにくい障害者への配慮を促すヘルプマークの普及啓発 ○宇都宮東警察署の移転整備 など

快適実感安全戦略






- 民間住宅の耐震改修・耐震建替（現地）等への助成
- 中山間地域等での「小さな拠点」の形成に取り組む市町への支援 15戦略
- 中小企業に対するコージェネレーション導入可能性調査の実施 15戦略 など

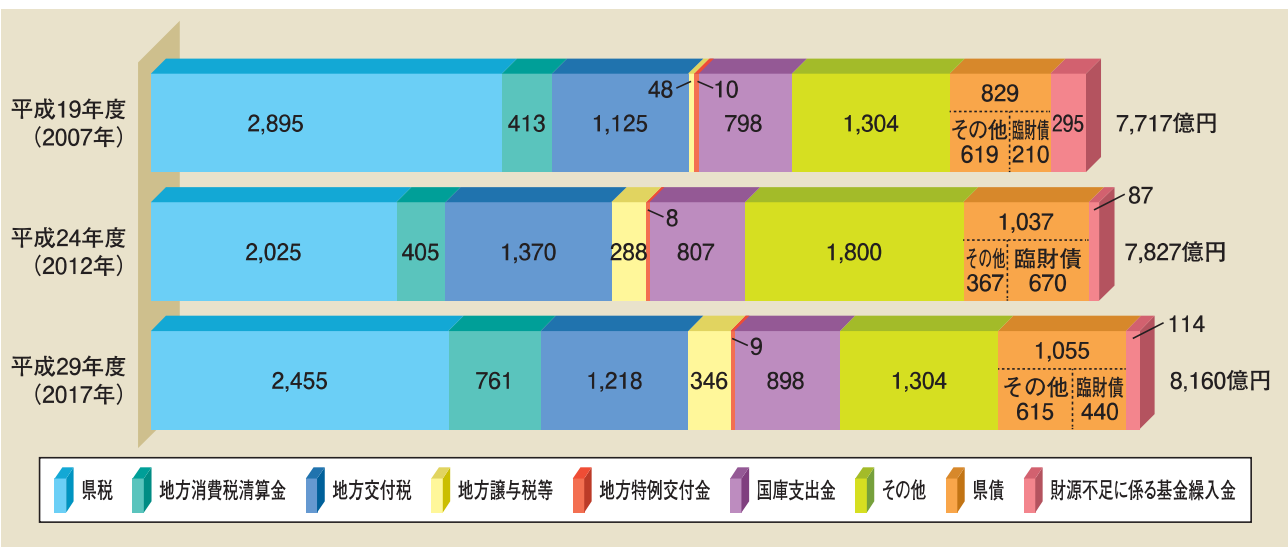
誇れる地域づくり戦略

- 「栃木ふるさと支援センター（仮称）」の制度設計に向けた調査の実施 15戦略
- 「ふるさと活力応援隊」による農山村地域活性化の推進 15戦略
- 県立博物館収蔵庫棟の整備 ○総合文化センターの大規模改修
- 県版レッドデータブックの改訂 15戦略 など



2 平成29年度予算の内訳(過去の予算と比べてみると)

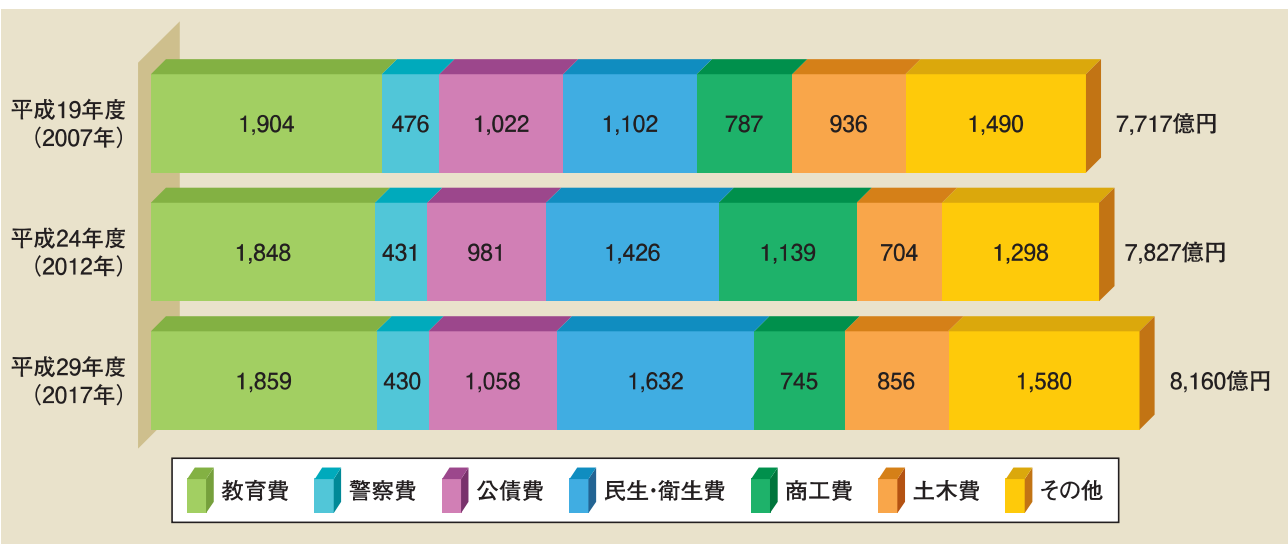
歳入

- 県税収入（）は、平成20年度の地方法人特別税（国税）の導入による法人事業税の税率引下げの影響等により、平成19年度に比べると減少しているものの、リーマンショックや東日本大震災後の企業業績の回復等により平成24年度に比べると増加しています。
- 一方で、地方譲与税等（）は、地方法人特別譲与税の増加等に伴い、平成19年度及び平成24年度に比べて増加しています。
- 地方交付税（）及び臨時財政対策債（）はともに平成19年度に比べると増加しているものの、平成24年度に比べると減少しています。
- 財源不足に係る基金繰入金（）は、近年減少傾向にありましたが、平成29年度は114億円と増加しています。



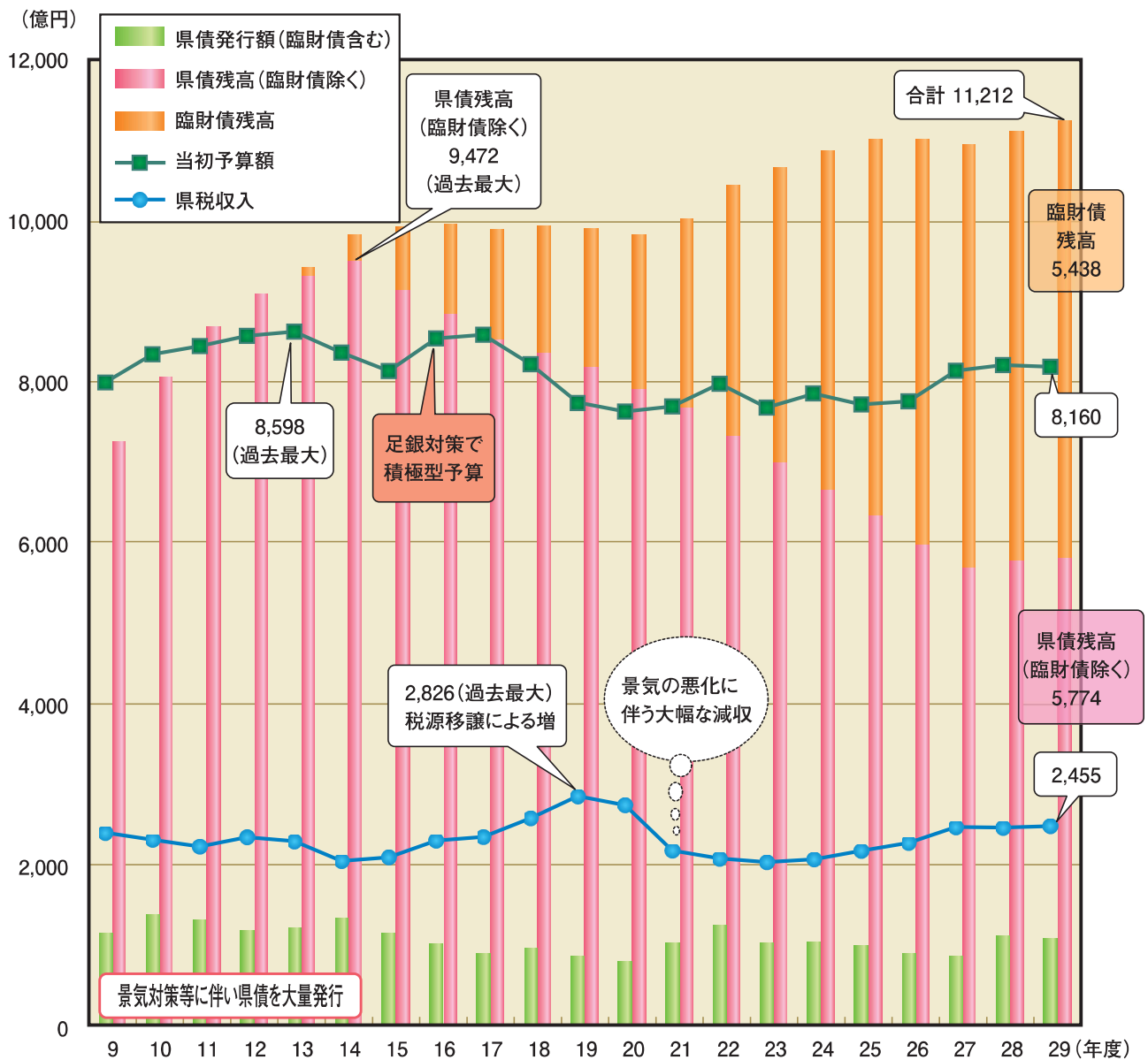
歳出

- 過去の借金に対する返済経費（ 公債費）が年間約1,000億円あり、大きな負担となっています。また、この返済経費は、今後も増加していくことが見込まれています。
- 高齢化等に伴い、福祉・医療の経費（ 民生・衛生費）が増えており、今後もこの傾向が続くものと見込まれます。



3 栃木県財政の推移(過去20年間をしてみると)

- 予算規模(当初予算額 ■)は、平成13年度に過去最大となっています。平成29年度は平成27、28年度に引き続き、8,000億円台となりました。
- 県税収入(●)は、税源移譲により平成19年度に過去最大となった後、景気の悪化により大幅な減収となりました。近年は回復傾向であったものの、平成27年度以降はほぼ横ばいで推移しています。
- 臨時財政対策債を除く県債残高は、平成14年度に9,472億円に達した以降減少していましたが、総合スポーツゾーン等の大規模建設事業などの影響により、平成29年度末残高見込みは平成28年度末残高見込みに比べて若干の増となりました。
加えて、国の地方財源不足対策による臨時財政対策債の増加もあり、平成29年度の県債残高全体としては約1.1兆円となっています。



※ 県債残高、県債発行額及び県税収入については、27年度までは決算額、28年度は2月補正後、29年度は当初予算額です。



4 今後の財政収支見込み

- 平成29年2月時点での中期財政収支見込みを作成しました。
- 平成33年度までの間に、単年度で最大133億円の財源不足が見込まれており、それに伴い財政調整的基金残高は減少していく見込みです。

栃木県の中期財政収支見込みについて

概要

- ・平成29年度当初予算や国の地方財政対策等を踏まえ、中期的な収支見込みを試算しました。
- ・平成29年度当初予算をベースに、いくつかの前提条件を設定し機械的に試算したものです。
- ・従って、今後の経済情勢の変化や国の予算編成の動向等により、試算した数値は大きく変動します。

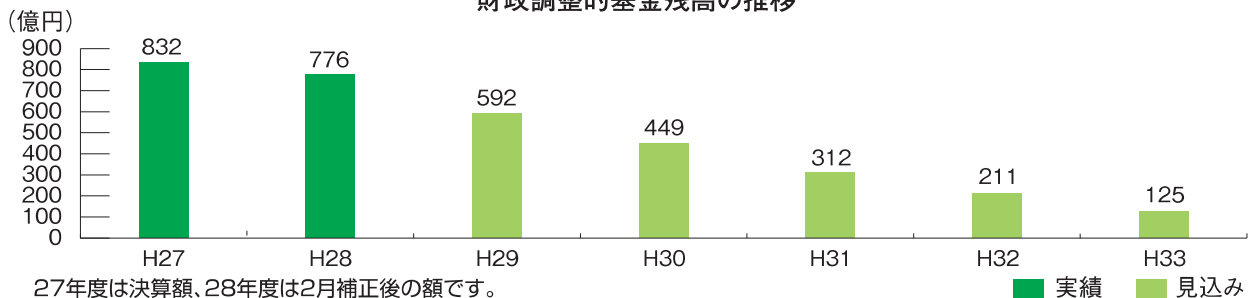
試算の考え方

- ・職員費は、一般職員、教員の増減等を反映して試算しています。
- ・公債費、主要義務費、税交付金等は、増加を見込んでいます。
- ・県税、交付税等の一般財源総額は、平成29年度当初予算と実質的に同水準で推移することを前提に見込んでいます。
- ・新たな行政需要等として、総合スポーツゾーン、宇都宮東警察署整備等を見込んでいます。

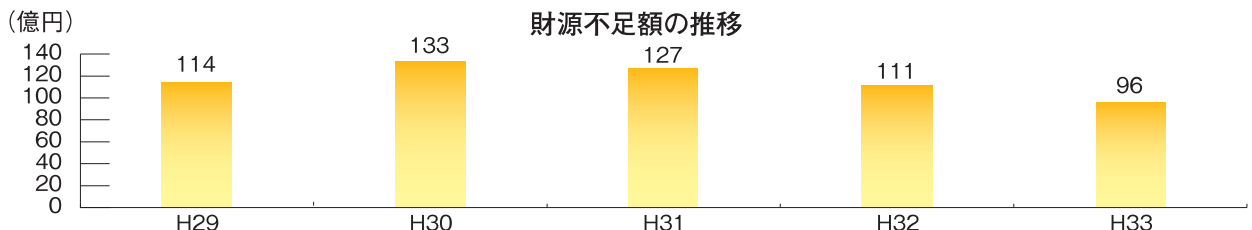
(単位：億円)

区分	H29	H30	H31	H32	H33
歳出合計（一般財源） A	6,038	6,086	6,141	6,167	6,328
歳入合計（一般財源） B	5,924	5,953	6,014	6,056	6,232
財源不足額（収支差） C = B - A	▲ 114	▲ 133	▲ 127	▲ 111	▲ 96
基金充当額	114	133	127	111	96
年度末財政調整的基金残高見込み	592	449	312	211	125
年度末県債残高見込み	11,212	11,314	11,392	11,440	11,512
臨財債除き	5,774	5,773	5,762	5,705	5,645

財政調整的基金残高の推移



財源不足額の推移



5 財政健全化への取組

○中期財政収支見込みにおいても、医療福祉関係経費等の増加に加え、大規模建設事業、「とちぎ元気発信プラン」等に基づく取組など新たな行政需要への対応等により今後も財源不足が見込まれています。このため、引き続き、財政健全化に取り組み、県政の持続的発展を可能とする強固な財政基盤を確立していく必要があります。

○「とちぎ行革プラン2016」における具体的な取組項目

(1)持続可能な財政運営

- 中期的な視点に立った財政運営
- 県債残高の抑制
- 財政健全化判断比率や地方公会計関係資料などの公表による財政状況の「見える化」の推進

(2)行政コストの削減

- 各部局の主体的判断に基づく事務事業の見直し
- 市町や各種団体等への補助金等の必要な見直し

(3)歳入の確保

- 県税収入の確保
- 広告収入の確保等による自主財源の確保

(4)県有財産の適正管理と有効活用

- 公共施設等総合管理計画（※）の策定等による公共施設等の総合的・計画的な管理
- 全庁的かつ長期的な視点を踏まえた県有財産の総合的な利活用の推進

(5)公営企業等の自立的経営

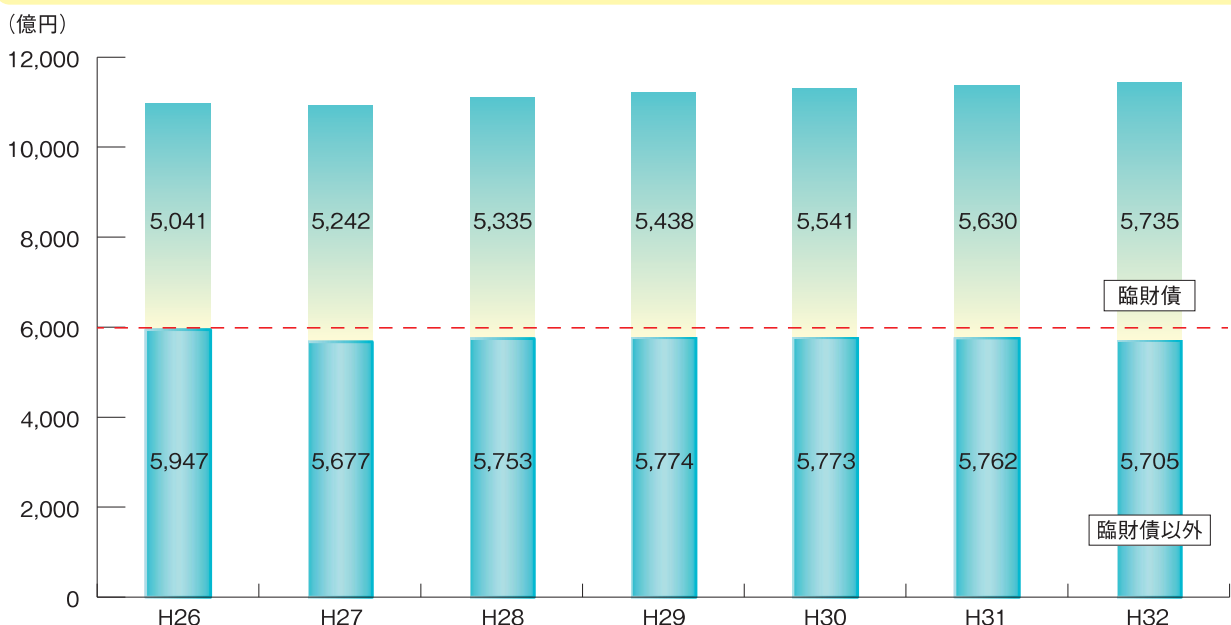
- 「栃木県企業局経営戦略」（平成28～37年度）に基づく企業局事業の効率的な経営
- 平成32年度までの経営改革プランに基づく病院事業経営の健全化
- 流域下水道事業への公営企業会計の適用の推進

※栃木県公共施設等総合管理基本方針（平成28年12月策定）

○県債残高の推計

○今後、大規模建設事業のほか公共施設等の長寿命化対策などにより県債発行の増加が見込まれますが、事業費の節減や国庫補助金等の活用などにより、県債発行額の縮減に努めます。

目標：平成32年度末の県債残高（臨時財政対策債を除く）を平成26年度末の水準以下に抑制



27年度以前は決算、28年度は2月補正後、29年度は当初予算時点での残高です。30年度以降は、中期財政収支見込み（29年2月作成）により試算を行いました。

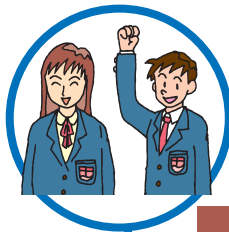
今後の経済環境の変化や災害の発生状況等によって、試算した数値は大きく変動することとなります。

一世帯あたりの支出内訳

商工業の発展に
96,452円



教育・文化に
240,837円



福祉の向上と健康づくりに
211,373円



合計
1,056,913円



農林水産業の発展に
46,001円



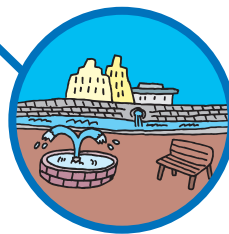
住宅・公園・下水道・道路に
110,907円



犯罪・交通事故防止に
55,642円

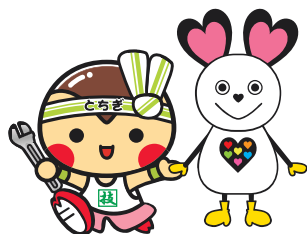


地方債の償還に
137,091円



その他
158,610円

772,041世帯 H29.1毎月人口調査



とちぎ技能五輪・アビリンピック2017



とちぎから 未来へ 翔く 技と夢

技能五輪 : 平成 29 年 11 月 24 日～11 月 27 日
アビリンピック : 平成 29 年 11 月 17 日～11 月 19 日

とちぎ技能五輪

検索



ふるさと
“とちぎ”
応援寄附金

◎お問い合わせ先
税務課 ☎028-623-2101

ふるさと“とちぎ”への応援(寄附)を募集しています!!

みなさまからお寄せいただいたご寄附は、文化の振興、交通安全、福祉の向上、医療の充実、森づくり、日光杉並木街道保護や誰もが輝く人づくりなど、**ふるさと“とちぎ”づくりのために幅広く活用**させていただきます。

- クレジットカードでも寄附をすることができます。
- ふるさと納税として、所得税、個人住民税の控除の対象になります。

栃木県 宝くじ情報

みなさん
宝くじは
栃木県内で
買ってね。



県内で発売された宝くじの収益金は、皆さんの身近な暮らしに役立っています。

◎お問い合わせ先
財政課 ☎028-623-2018

栃木県経営管理部財政課

〒320-8501 宇都宮市埜田1-1-20

電話 028-623-2018

FAX 028-623-2030

URL <http://www.pref.tochigi.lg.jp>

E-mail zaisei@pref.tochigi.lg.jp



古紙配合率80%再生紙を使用しています